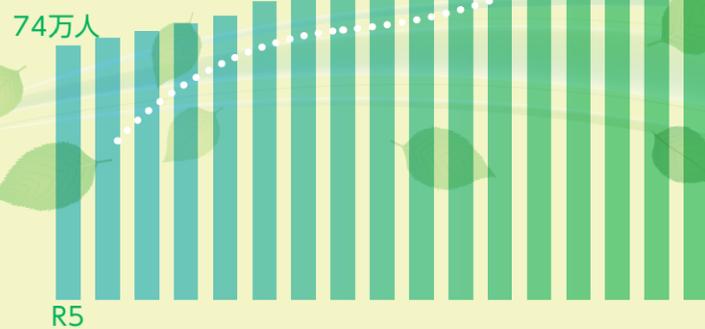




ねりまは、まだまだ
大きく発展!

全国でもまれな 人口増加が続くまち・ねりま

大江戸線の延伸を考慮した人口推計では、令和26年度が人口のピークになると見込まれています。今後もまちづくりが進むことで、まちはさらに変化し、発展していきます。



区は、平成31年に策定した「第2次みどりの風吹くまちビジョン」に基づき、あらゆる分野で「練馬区モデル」を展開し、さまざまな施策を展開してきました。

これまでの施策を着実に継続・発展させ、みどり・文化・スポーツ・都市インフラなど区民生活をさらに豊かにするため、「第3次みどりの風吹くまちビジョン(以下「第3次ビジョン」)」の素案をまとめました。

第3次ビジョンは、区が目指す将来像の実現への道筋を示す基本計画と、具体的な実行計画であるアクションプランの2部で構成されます。今後、区民の皆さまからご意見を伺い、今年度中に策定します。

練馬区に住んで39年になります。都心近くに立地し、大都市東京の魅力を享受しながら、広い空の下に豊かな緑が広がる我がまち練馬。離れ難くて、今では人生の故郷となりました。

全国18番目の人口は74万を超えてなお増え続けています。大江戸線の延伸、西武新宿線の連続立体交差化などが動き出しており、まちの姿はこれからも大きく変わっていきます。練馬区はまだまだ発展の余地を残した、全国でも極めて稀な、豊かな可能性を持ったまちなのです。

私には、大きな夢があります。練馬の可能性を最大限に花開かせ、ここに練馬区あり、そう胸を張れるまちを創って未来の世代へ遺したい。政策でも住民自治でも、全国を先導する大都市自治体を目指したい。固く心に決めています。

今回お示した「第3次みどりの風吹くまちビジョン(素案)」は、区民の皆様とともに練馬区の将来について考える素材です。幅広いご意見をお待ちしています。



練馬区長 前川耀男

第3次ビジョン 6つの施策の柱と主な取り組みを紹介

令和6～10年度の取り組み

問合せ 企画課 ☎5984-2448 FAX 3993-1195

柱1 子どもたちの笑顔輝くまち

区は、「保育所待機児童ゼロ作戦」を進め、全国トップレベルとなる定員増を実現し、令和3年度から待機児童ゼロを3年連続で達成しています。また、区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」を創設し、子どもの教育や保育について、保護者の選択の幅を広げてきました。それぞれの家庭の思いを尊重するため、子育てのかたちを選択できる社会の実現を目指し、多様化する子育てサービスのニーズに応える施策を展開します。



取り組み1

子どもの一時的な預け先の選択肢の拡大

地域子ども家庭支援センター関で乳幼児一時預かり事業を拡充し、石神井公園駅南口西地区でも開始に向けて調整を行います。また、自宅で子どもを預かるベビーシッターの利用料助成制度を導入します。

取り組み2

都児相設置にあわせた児童相談体制の強化

都は6年度に(仮称)東京都練馬児童相談所を区の子ども家庭支援センターと同じ施設内に設置します。広域的・専門的機能を担う都と、地域に根差したきめ細かい支援を担う区の連携をさらに深め、児童相談体制「練馬区モデル」を強化します。

取り組み3

障害児など支援が必要な子どもたちへの取り組みの充実

保育園や幼稚園、学童クラブ、学校で、障害児や医療的ケア児の受け入れ体制を拡充します。表面化しにくいヤングケアラーを早期に発見し、支援につなげる取り組みを進めます。増加傾向にある不登校児童生徒の支援体制を強化します。

その他の取り組み

- 保育所待機児童ゼロを継続、練馬こども園を拡充
- ねりっこクラブを全区立小学校で実施
- 児童館の日曜・祝日の開館、平日の開館時間を拡大
- 旭丘・小竹地域で新たな小中一貫教育校を開校
- 部活動の地域移行やICTの活用などにより、教員の働き方改革を推進



柱2 高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち

令和7年に、団塊世代の全ての方が75歳以上の後期高齢者となります。区は、高齢者が地域で安心して生活できるよう、都内トップの施設数となる特別養護老人ホームなど、介護保険施設の整備を着実に進めてきました。また、地域の方が気軽に立ち寄り、介護予防について学んだり、健康について相談したりできる「街かどケアカフェ」を拡充してきました。引き続き、医療と介護サービスの基盤整備に取り組み、住み慣れた地域での暮らしを支えます。



取り組み1

高齢者の生活を支えるコーディネート力の強化

高齢者をよりきめ細やかに支えるため、6年度から、日常生活圏域(※)を4地区から、地域包括支援センターと同じ27地区とします。支援が必要な高齢者を地域で活動する団体などへつなぐ、生活支援コーディネーターを各地区に1名配置します。
※区市町村が定める、介護サービスなどがおおむね30分以内に提供される範囲のこと。

取り組み2

区内初となる介護医療院の整備

練馬光が丘病院跡施設を活用し、医療・介護の複合施設の整備を進め、7年度の開設を目指します。医療ニーズが高く、特別養護老人ホームでの受け入れが困難な方に対して、医療・介護・看取りなどを行う区内初の介護医療院を整備します。

取り組み3

「高齢者みんな健康プロジェクト」の拡充

保健師などの専門職を増員し、ハイリスク高齢者への個別支援を強化します。また、練馬区薬剤師会と連携して、服薬指導・健康相談を個別訪問などで実施し、健康上の課題を抱える高齢者を総合的に支援します。



旧練馬光が丘病院



その他の取り組み

- 練馬光が丘病院跡施設に介護福祉士養成施設を整備
- スマホアプリ「フィット&ゴー」を活用したフレイル予防の充実
- デジタル格差の早期解消を目指し、スマホ教室を集中的に実施
- はつらつセンターにスマホ相談窓口を設置

柱3 安心を支える福祉と医療のまち

区は、障害者が住み慣れた地域の中で自立して暮らし続けられるよう、就労支援や相談支援体制の強化、重度障害者グループホームの整備に取り組んできました。また、順天堂練馬病院が三次救急医療機関に指定されたほか、区の病床数は、平成26年度の1,800床から約1,000床の増床が見込まれるなど、区の医療環境は大きく充実しています。誰もが安心して暮らせ、未来に希望を持って生活できるまちの実現を目指し、福祉・医療サービスを一層充実させます。



取り組み1

医療的ケアが必要な方を支援する多機能型施設の誘致

新たに取得した三原台2丁目用地に、通いの場や家族支援などの機能を備えた多機能型施設を誘致するなど、医療的ケアが必要な方への支援を充実します。

取り組み2

ひとり親家庭自立応援プロジェクトの深化

4年度に実施したひとり親家庭ニーズ調査の結果を踏まえ、自立に向けた支援策をさらに充実します。希望する地域で仕事と育児を両立できるよう、転宅費用の助成やホームヘルプサービスの充実などに取り組みます。

取り組み3

順天堂練馬病院における新病棟整備の支援

順天堂練馬病院の新病棟整備を支援し、災害時の応急処置の対応スペースや備蓄物資の保管場所、感染症患者の隔離スペースなどを確保するほか、増床に向けた調整を進め、医療提供体制を強化します。

その他の取り組み

- 障害者の就労定着支援・再就職支援を強化
- 生活サポートセンターでオンライン相談を開始
- 地域福祉コーディネーターを増員しアウトリーチ型支援を充実
- 練馬光が丘病院跡施設に区内初の緩和ケア病床を有する病院を整備
- 在宅医療提供体制の充実やACP(人生会議)(※)の普及啓発を強化
※Advance Care Planningの略。もしものときのために、医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合うこと。
- がん患者のウィッグ購入費用などの助成を開始



順天堂練馬病院

柱4 安全・快適、みどりあふれるまち

区は、快適で暮らしやすいまちの実現に向け、災害に強く、安全・安心な暮らしを支える都市インフラの整備を着実に進めてきました。西武新宿線の連続立体交差化計画は、都市計画決定により大きく前進し、いよいよ始動します。安全で快適な、みどりあふれるまちの実現を目指し、区民と手を携えながら積極的に取り組みます。



取り組み1

大江戸線の延伸の実現へ

都では、庁内検討プロジェクトチームによりスピード感を持って検討が進められています。区は、沿線まちづくりの推進や基金の効果的な活用方法などの検討を進め、早期事業着手に向け、都とともに取り組みます。

取り組み2

地震・火災に対する防災まちづくりの推進

密集住宅市街地整備促進事業実施地区や防災まちづくり推進地区での地域住民への丁寧な周知のほか、道路拡幅、建築物の不燃化、危険なブロック塀などの撤去など、災害に強いまちづくりを推進します。桜台東部地区は、地区計画の策定や道路整備に向けた取り組みなどを進めます。

取り組み3

稲荷山公園・大泉井頭公園の整備

みどりのネットワークの拠点となる公園づくりを進めるため、稲荷山公園では段階的な整備の検討を進め、第一期事業認可の取得を目指します。大泉井頭公園では基本計画策定に向けた検討を進めます。



その他の取り組み

- 密集事業実施地区などの木造住宅に感震ブレーカーの無償貸与を開始
- 西武新宿線の連続立体交差化と沿線まちづくりを推進
- 2040年代を見据えた新たな地域公共交通計画の策定
- 公園等改修計画の策定、トイレのリニューアルを推進
- 沿道緑化を推進
- (仮称)ねりまみどりフェスタを開催
- 住宅などの省エネ化・再エネ導入を促進
- 製品プラスチックの回収・資源化を開始

柱5 いきいきと心豊かに暮らせるまち

区は、みどりの中で優れた文化芸術を楽しめるまちの実現に取り組んできました。誰もがいきいきと暮らすためには、子育て支援や福祉医療の充実とあわせ、文化芸術やスポーツ振興も一体的に進めることが不可欠です。引き続き、文化芸術・スポーツ振興、都市農業振興、中小企業支援、商店街振興など、暮らしに潤いや幸せを感じる、魅力あふれるまちを目指して取り組みを進めます。

取り組み1

美術館・貫井図書館の全面リニューアル

「まちと一体となった」「本物のアートに出会える」「図書館と融合する」という発想により、新しい美術館・図書館を9年度に開館する予定です。

取り組み2

石神井松の風文化公園の拡張整備

石神井松の風文化公園の拡張部分にフットサル・テニス兼用コートのほか、スケートボードなどができる広場を整備し、8年度の開設を目指します。

取り組み3

商店会や個店の意欲に応える3つのサポート

個々の商店街活動の枠を超えて商店会同士や民間企業などと連携する取り組みや、個店同士が取り組むイベントへの補助制度を充実します。空き店舗への誘致活動を支援し、魅力ある商店街を増やします。



その他の取り組み

- 新商品の開発などに取り組む事業者への補助を開始
- スマート商店街プロジェクトのさらなる展開
- 野菜の収穫体験ができる「ベジかるファーム」を拡充
- 各農家の状況を把握し相談支援を実施
- 野村万作さんなどの協力による新たな能楽公演の開催など文化芸術イベントを充実
- 「区内周遊ツアー」を充実し練馬の魅力を発信
- ユニバーサルスポーツの機会を充実



柱6 区民とともに区政を進める

区は、区政の最大のパートナーである町会・自治会への加入促進などの支援に取り組むほか、区民のアイデアを具体化する「地域おこしプロジェクト」を実施してきました。区民協働の区政を深化させるため、試行錯誤しながら取り組みを展開します。また、限られた財源と職員で多様化するニーズに対応するため、デジタルやデータを活用し、サービスや業務を抜本的に変革するDXを推進します。

取り組み1

町会・自治会の相談体制の強化

課題解決に向けた助言を行うコンサルタントの派遣など、町会・自治会の状況に合わせたきめ細やかな支援を行うため、相談体制を強化します。

取り組み2

ねりま協働ラボの実施

区とともに地域課題に取り組む団体やアイデアを募集するとともに、町会・自治会や、NPO法人、ボランティア団体などがコラボして取り組むプロジェクトを支援し、地域活動への新たなチャレンジを後押しします。

取り組み3

手続き・相談のオンライン化の推進

場所や時間を選ばず、パソコンやスマホから手続き・相談ができるよう、オンライン化を進めます。デジタルを活用して「書かない窓口」を実現します。利用者からの問い合わせにAIが対話形式で応答するチャットボットの対応分野を拡大します。



その他の取り組み

- 町会・自治会のデジタル技術の活用を支援
- 外国人向けの日本語講座の定員を拡充
- 今後の外国人施策に関する方針を策定
- デジタルツールの活用による業務DXを推進



ご意見をお寄せください

素案の全文は、区ホームページや区民事務所(練馬を除く)、図書館(南大泉図書館分室を除く)、区民情報ひろば(区役所西庁舎10階)、企画課でご覧になれます。ご意見は、区民意見反映制度により募集します。①意見②住所③氏名④電話番号を、1月15日(必着)までに区ホームページまたは持参、郵送、ファクスでお寄せください。 ※郵送の宛先は、郵便番号(〒176-8501)と部署名のみで届きます。 ※ご意見は、匿名で公表する場合があります。



問合せ・ご意見の送付先

〒176-8501
区役所内企画課企画担当係 (本庁舎6階)
☎5984-2448 FAX 3993-1195

オープンハウスを開催します

職員がパネルを使って説明し、質問などにお答えします。
▶申込:当日会場へ▶問合せ:企画課企画担当係 ☎5984-2448
※パネルの内容は、12月17日(日)から区ホームページでもご覧になれます。

日時		場所
12/17(日)	14:30~16:30	北町第二地区区民館
12/18(月)	18:00~20:00	光が丘区民センター2階
12/23(土)	14:30~16:30	勤労福祉会館
12/26(火)	18:00~20:00	ココネリ3階
1/9(火)		関区民センター
1/10(水)		石神井庁舎5階

※公共施設等総合管理計画(本紙3面参照)のオープンハウスも同時開催。

